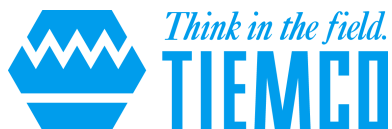


2024年7月10日版

決算説明補足資料

第55期 2024年11月期 第2四半期



株式会社ティムコ
東証STD 7501

CONTENTS



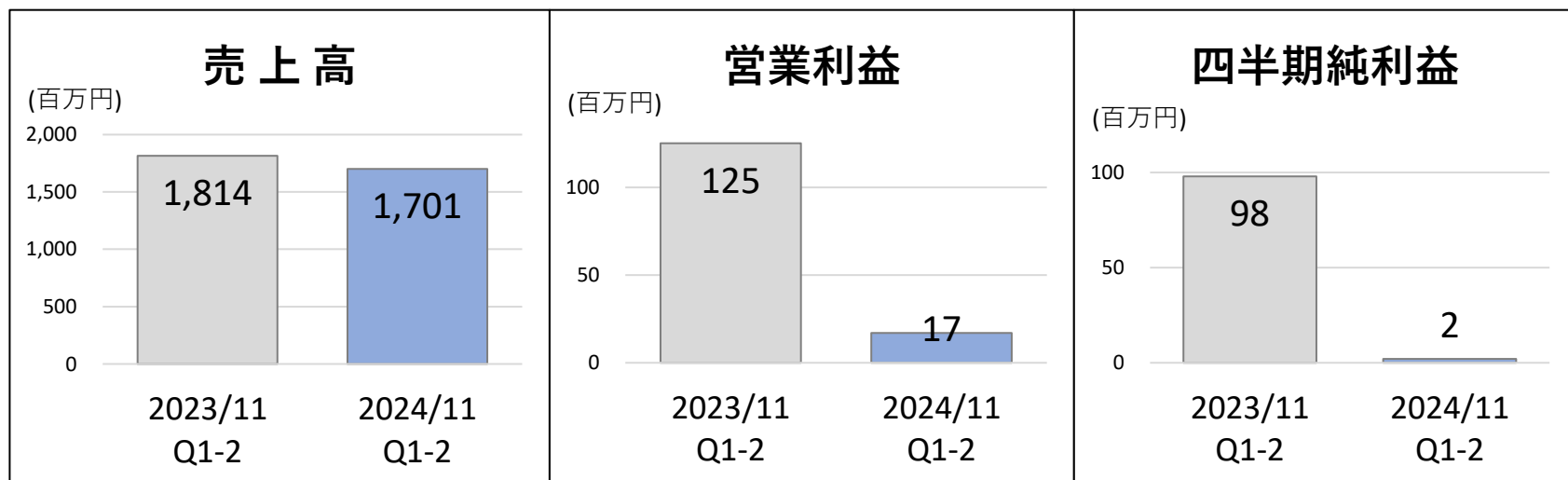
区 分	内 容	頁
決算概況	全体	P3
	四半期別	P4
	セグメント別（フィッシング事業）	P5
	セグメント別（アウトドア事業）	P6
	輸出の状況	P7
	輸入の状況	P8
	新製品・自社企画品	P9
当期予想・対策	当期における対策	P10
	2024年11月期 業績・配当予想	P11
	2024年11月期 業績予想 セグメント別	P12
TOPIX	第2四半期までのトピックス ①～⑨	P13
市場調査データ	参加人口の推移・出荷市場・小売市場データ他	P22

決算概要（全体）



フィッシング事業は、需要の高まったコロナ禍からの反動減による市場の在庫調整により販売が苦戦、アウトドア事業は、記録的な暖冬により主に防寒衣料の販売が苦戦し、**売上高は前期を下回りました**。
また、折からの原材料高騰や急激な円安により売上総利益率が減少したほか、賃上げ等による販売費及び一般管理費の増加により、**営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前期を下回りました**。

単位：百万円	2023年11月期 1-2Q	2024年11月 1-2Q	増減率	増減額
売上高	1,814	1701	－6.2%	－112
営業利益	125	17	－85.8%	－107
経常利益	124	20	－83.5%	－104
四半期純利益	98	2	－97.0%	－95



決算概要（四半期別）

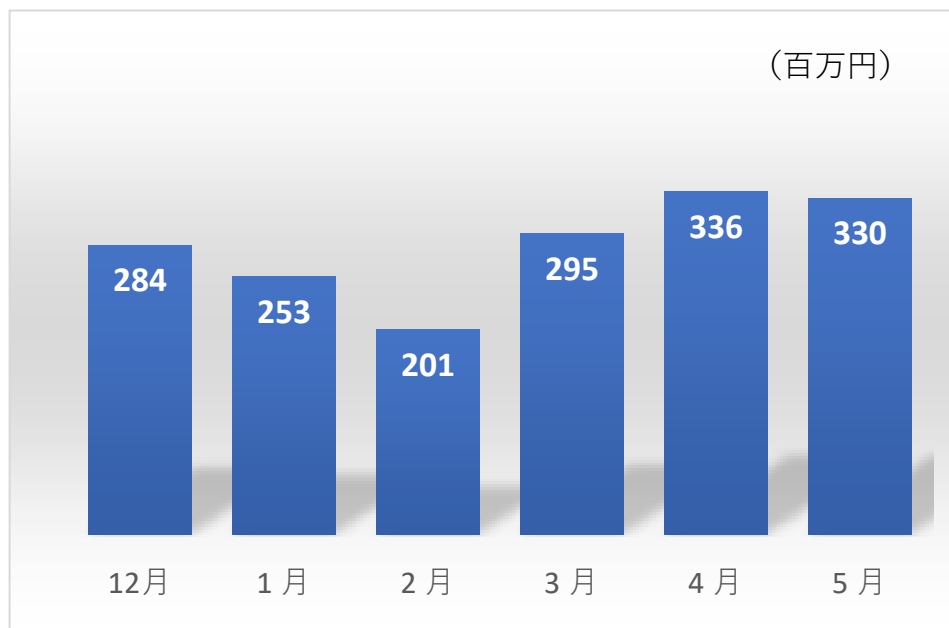


前年同期においては、コロナ明けによる商業施設等に人道が回復したことにより、アウトドア衣料は堅調に推移した一方、当第2四半期においては、記録的な暖冬により、特に、1Q(12～2月)にかけて防寒衣料の販売が苦戦しました。フィッシング用品は全般に需要が低迷していますが、特に2Q(3～4月)において取引先販売店の釣具在庫調整等の影響により販売が苦戦しました。

- 1Q (12-2月) 前年1Qにコロナ禍で回復した反動と暖冬により当年1Qは主にアウトドア衣料の売上高苦戦。
- 2Q (3-5月) 釣用品市場の需要低迷に伴う取引先販売店の在庫調整等により フィッシング用品の売上高苦戦。

<月別売上高の状況（百万円）>

	売上高	構成比	前年同月比
12月	284	16.7%	86.7%
1月	253	14.9%	92.6%
2月	201	11.8%	104.7%
3月	295	17.4%	89.6%
4月	336	19.8%	98.5%
5月	330	19.4%	94.7%



決算概況(セグメント別 フィッシング事業)



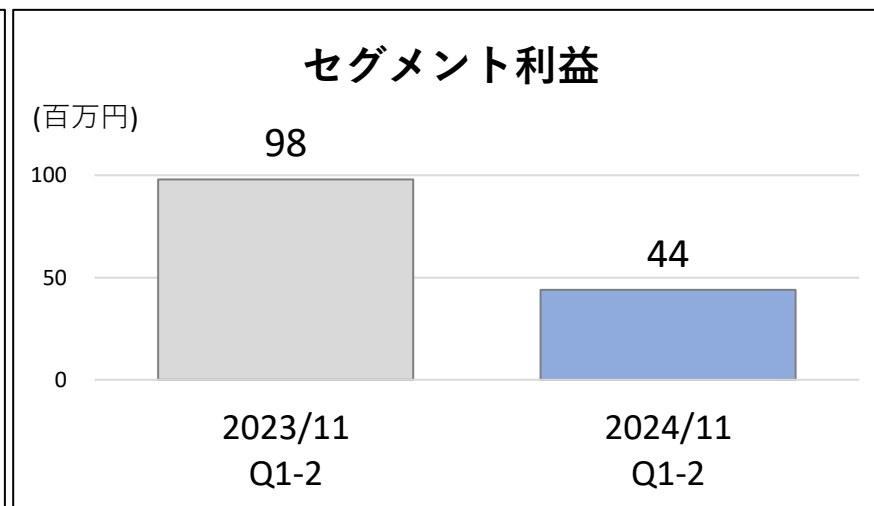
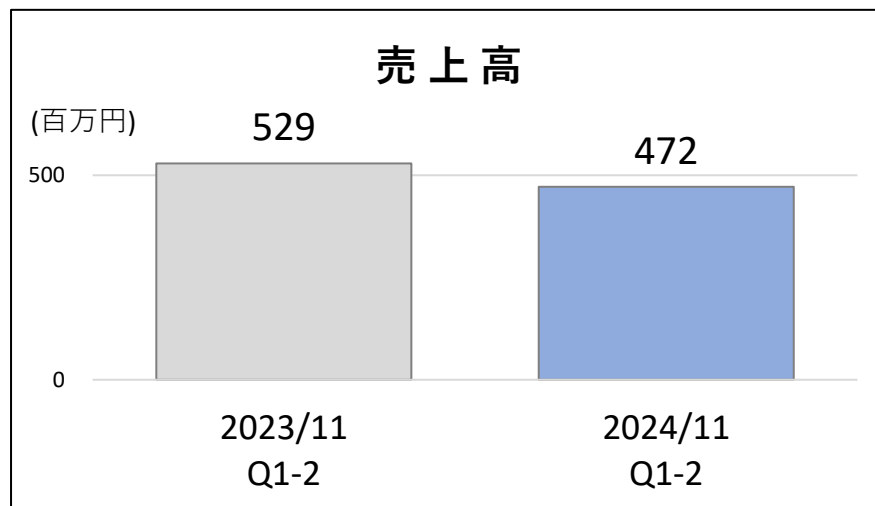
◆増加要素

- ・ルアー用のロッド(釣竿)等の一部商品の売上が増加。
- ・輸出の売上が増加(円安も起因)。

◆減少要素

- ・コロナ禍でアクティビティとして注目されていた反動減で釣り市場が低迷。
- ・取引先 販売店の在庫調整により販売低迷。
- ・原価高騰及び円安に起因する 商品の値上げによる買い控え。
- ・原価高騰及び円安に起因して 原価率が上昇し売上総利益率が低下。

単位：百万円	2023/11期 Q1-Q2	2024/11期 Q1-Q2	増減率	増減額
売上高	529	472	-10.9%	-57
セグメント利益	98	44	-55.1%	-54



決算概況(セグメント別 アウトドア事業)



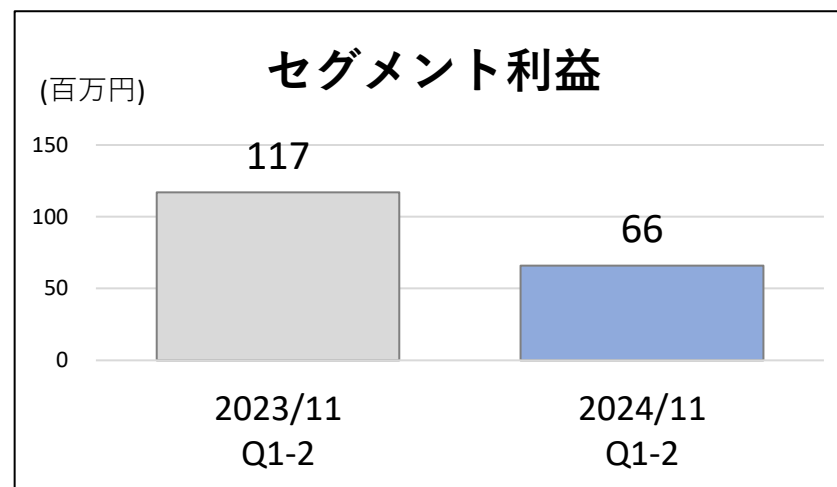
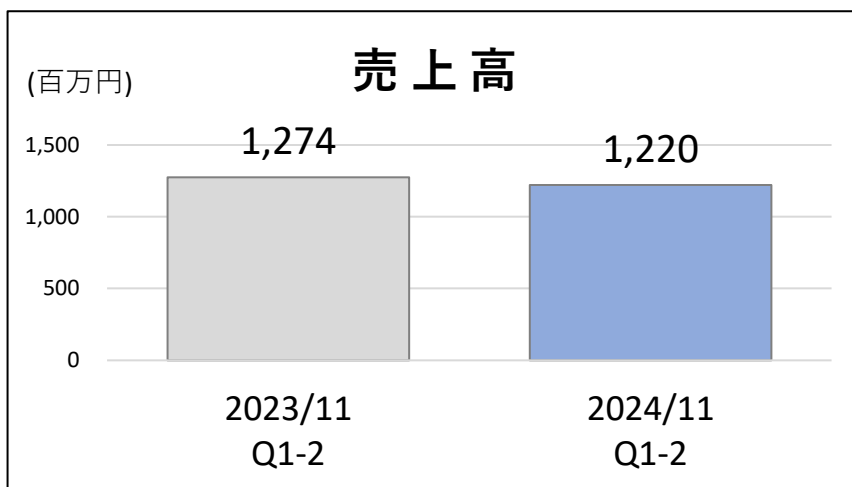
◆増加要素

- ・2024年春夏物のスコロン(防虫衣料)等の販売が堅調に推移。

◆減少要素

- ・暖冬の影響により防寒衣料の販売が苦戦。
- ・春以降の登山需要等が停滞気味。
- ・原価高騰及び円安に起因する商品の値上げによる買い控え。
- ・原価高騰及び円安に起因して原価率が上昇し売上総利益率が低下。

単位：百万円	2023/11期 Q1-Q2	2024/11期 Q1-Q2	増減率	増減額
売上高	1,274	1,220	－4.2%	－53
セグメント利益	117	66	－43.6%	－51



決算概況(輸出の状況)



<概況>

輸出品目はフライフィッシング用品が中心。

海外でもコロナ禍での釣り需要の高まりの反動減があるものの、円安による影響もあり輸出は増加。

<主な国別状況>

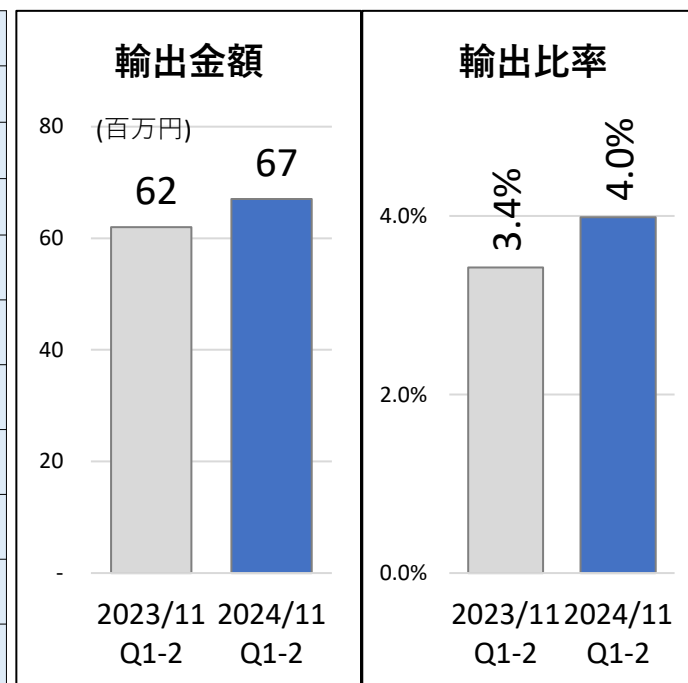
スリランカ：フライ用品の毛鉤生産工場を中心とした輸出。

フランス：ルアー（擬似餌）を中心に輸出が拡大。

アメリカ：取引先の在庫調整による減少。

中国：主にFoxfire取引先の出荷増による。

	2023/11期 Q1-2		2024/11期 Q1-2	
売上高	1,814百万円		1,701百万円	
輸出金額	62百万円		67百万円	
輸出比率	3.4%		4.0%	
輸 出 シ ョ ア	ス リ ラ ン カ	23.6%	ス リ ラ ン カ	20.6%
	フィリピン	11.5%	フ ラ ン ス	13.6%
	タ イ	9.4%	ス ウ ェ ー デ ン	12.0%
	イ タ リ ア	9.2%	中 国	7.5%
	フ ラ ン ス	8.0%	ア メ リ カ	6.9%
	ア メ リ カ	8.0%	イ タ リ ア	6.4%
	そ の 他	30.3%	そ の 他	33.0%



決算概要(輸入の状況)



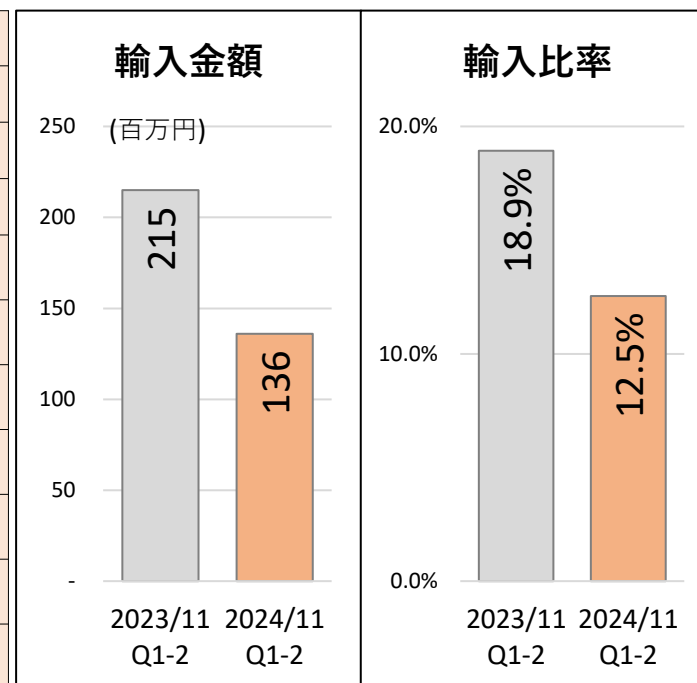
<概況>

海外の取引先から仕入れを輸入として計上しており フィッシング用品が中心。
釣用品市場の 国内需要の低迷により、輸入金額も減少した。

<主な国別状況>

アメリカ：釣用品の国内需要低迷の影響により減少。
韓国：韓国の生産品目の仕入が増加したことによる増加。

	2023/11期 Q1-2		2024/11期 Q1-2	
仕入金額	1,140百万円		1,089百万円	
輸入金額	215百万円		136百万円	
輸入比率	18.9%		12.5%	
輸 入 シ ェ ア	ア メ リ カ	47.3%	ア メ リ カ	30.9%
	中 国	17.3%	韓 国	23.8%
	台 湾	15.3%	中 国	21.1%
	韓 国	12.6%	台 湾	16.0%
	スウェーデン	4.1%	カ ナ ダ	2.2%
	コスタリカ	1.8%	イ ン ド	1.6%
	そ の 他	1.6%	そ の 他	4.4%

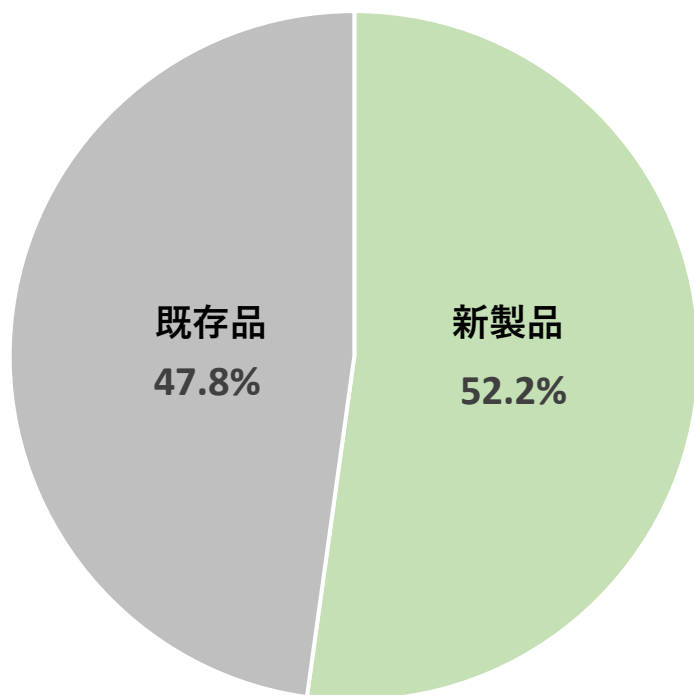


決算概要（新製品・自社企画品）



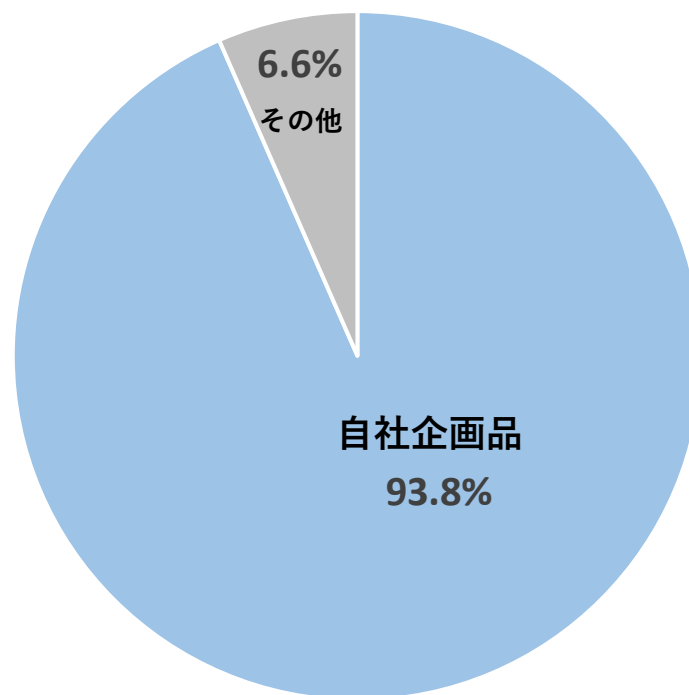
新製品販売比率

5 割以上が新製品



自社企画品販売比率

9 割以上が自社企画品



物価高騰により国内消費は停滞気味であるが、円安効果によりインバンドと輸出は活況。
また、業界内における成長分野への取り組みに注力していく。

1) 輸出の強化

当社でも輸出増加しているが、引き続き輸出を強化していく。
主にフィッシング事業が中心となり、ルアー用品の分野に成長の可能性がある。

2) インバウンドの活用

特にFoxfireは、海外からの旅行客の多い百貨店を中心に店舗しているため、インバンド顧客に向けたインフルエンサーマーケティングやキャンペーン等、新たな販売促進に取り組んでいく。

3) 成長分野への注力

低迷する釣用品市場の中でも、管理釣場を中心としたジャンルは堅調であり、この分野に対して注力していく。
また、アウトドア事業においても秋冬商戦に向けて、発信力の強い他社とのコラボレーションアイテムの取り組みを強化していく。

4) ECは引き続き強化

引き続きEC分野には注力し、成長分野として資源を投入していく。

2024年11月期 業績・配当予想



第55期(2024年11月期)の業績予想について

2024年11月期は市況の悪化により、**業績予想の修正**を行いました。

売上高は前期と同水準の予想ですが、原価高騰や円安による売上総利益率低下、人件費増やEC・海外展開の初期費用が見込まれ、営業利益、経常利益共に前期を下回る見通しです。

減益の見込みとなりますが、創立55周年の感謝も込めて。当初の予定通り、

5円50銭を増配による記念配当により、17円50銭の配当を行う予定です。

単位：百万円	2023年11月期 (実績)	2024年11月期 (予想※)	増減率	増減額
売 上 高	3,403	3,403	+ 0%	+ 0
営 業 利 益	116	45	- 61.3%	- 71
経 常 利 益	118	49	- 58.1%	- 69
当期純利益	108	20	- 81.5%	- 88
配 当	12円00銭	17円50銭	—	+ 5円50銭 (記念配当)

※) 2024年7月9日開示の業績修正値となります。

2024年11月期 業績予想 セグメント別

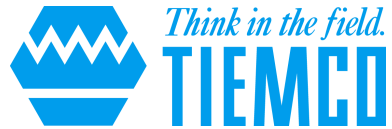


フィッシング事業は減収、アウトドア事業は増収計画となっています。
フィッシング事業は、引き続き市場全体が在庫調整局面であることから販売の苦戦が想定され**前期を下回る予想**です。
アウトドア事業は期初における記録的暖冬により防寒衣料が低迷したものの、春夏物の販売は堅調に推移することが想定され、売上高は**前年を上回る予想**であります。

単位：百万円	2023年11月期 (実績)	2024年11月期 (予想※)	増減率	増減額
フィッシング事業	903	859	－4.9%	－44
アウトドア事業	2,479	2,524	＋1.8%	＋45
その他	20	19	－4.1%	－1
全社合計	3,403	3,403	＋0.0%	＋0

※) 2024年7月9日 開示の業績修正値となります。

TOPICS



TOPIC① Fenwick 70周年



Fenwickは1954年に始まった米国のフィッシングブランド「Fenwick」が2024年に70周年を迎えました。フェラライトフェルルやカーボングラファイト製等、世に先駆けて開発し採用した革新的ブランドです。

当社は1971年よりFenwickの国内代理店として50年以上このブランドに関わっており、日本に流通するモデルは全て当社による開発です。2024年はFenwickの70周年に因んだ記念モデルをリリース（2023/12）しています。



OM SYSTEM × Foxfire オリジナルトラッシュポーチ & サコッシュ (2024/3)

「Foxfire」とOMデジタルソリューションズ株式会社による 「OM SYSTEM」 との 初のコラボレーションアイテム です。

フィールドフォトグラファーが、両手が空いてコンパクトに収納できる軽量サコッシュ、フィールドでゴミを捨てずに持ち帰ることが苦にならないデザインとして、商品開発しました。



TOPIC③ 映画「ミルクの中のイワナ」へ協賛



ドキュメンタリー映画「ミルクの中のイワナ」が2024年4月5日より一般劇場上映開始。
この映画は、自然をめぐる様々なジレンマによって危機に陥っている神秘の渓魚イワナに迫った自然ドキュメンタリーであり、研究者・漁協関係者・釣り人などが、それぞれの立場から「自然との共生」に向けて模索する姿を描いた社会ドキュメンタリーでもあります。当社は当映画のテーマに共感し協賛をさせていただくことができました。



<https://trout-inthemilk.com>

TOPIC④ C&Aのレストラン棟オープン



キャンパーズ アンド アングラーズ北広島のレストラン施設 「アルトラージェ」が2024年4月24日 OPEN



北海道ボールパークFビレッジ近隣にオープンした、体験型アウトドア施設「キャンパーズアンドアングラーズ北広島」(2023年9月30日開店)内に、レストラン棟がオープンしました。

人気ジェラート店「アルトラージェ」の称号を引き継いでリニューアルし、ジェラートの他、丸美珈琲店監修のカフェ、オリゾンテ監修のピザ等の提供を開始しました。



- ・店舗所在地：北海道北広島市美沢五丁目1番1
- ・土地面積：約4,733坪（1万6,046㎡）
- ・施設面積：物販棟約350坪/飲食棟約200坪(予定)

<株式会社キャンパーズアンドアングラーズ>

(株)スノーピーク、(株)アイビック(釣用品卸・小売)、アイビック食品(株)と当社の4社による合併会社。

- ・北海道札幌市東区北10条東1丁目1-11
- ・資本金 9,800万円 (2021年11月設立)

TOPIC⑤ 包括連携協定の締結

群馬県上野村に係わる 包括連携協定 4月28日



- ・ 群馬県上野村
- ・ 上野村漁業協同組合
- ・ 株式会社スノーピーク
- ・ 株式会社ティムコ

上記4者による 包括連携協定を
2024年4月28日に締結しました。

首都圏から100km圏内にもかかわらず手つかずの自然が残る群馬県上野村。村の中央を貫流する「神流川」は関東でも屈指の清流であり、全国から釣り人が集う憧れの地です。今回提携した4者は、互いの知見や人的資源、アウトドアの力を活用し、新たな地域活力を創出し、地域経済の発展及び住民サービスの向上に寄与すること、また上野村の自然や河川環境と生態系の保護に繋がる活動を推進していきたいと考えています。

TOPIC⑥ KAVUとのコラボアイテム



北米シアトルでサーモン漁師のための帽子から始まった KAVU。日本でフライフィッシングのためのアイテムから始まった Foxfire。ともに水と魚をルーツに持つブランド同士の初のコラボレーションです。

当社 Foxfireのオリジナルカモフラージュパターン（フィッシュアイカモ）を使った「水辺での視覚」をテーマにしたキャップ&ハット がラインナップ（2024年5月発売）。



TOPIC⑧ Lee × Foxfire 第2弾



FoxfireとLeeのコラボ商品 第2弾 2024年5月29日発売



米国のジーンズブランド「Lee」とFoxfireの限定コラボアイテム2024年モデル。
ベスト、パンツ、ハットの3アイテムが発売されました。



TOPIC⑨ SHAKU-HUNTER × Foxfire



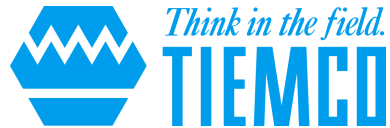
Foxfire × SHAKU-HUNTER コラボ第5弾 発売

【Foxfire × SHAKU-HUNTER 5th】

東北・仙台でフライフィッシングカルチャーを発信する「SHAKU-HUNTER」
とのコラボレーションシリーズ第5弾のアイテムが登場！

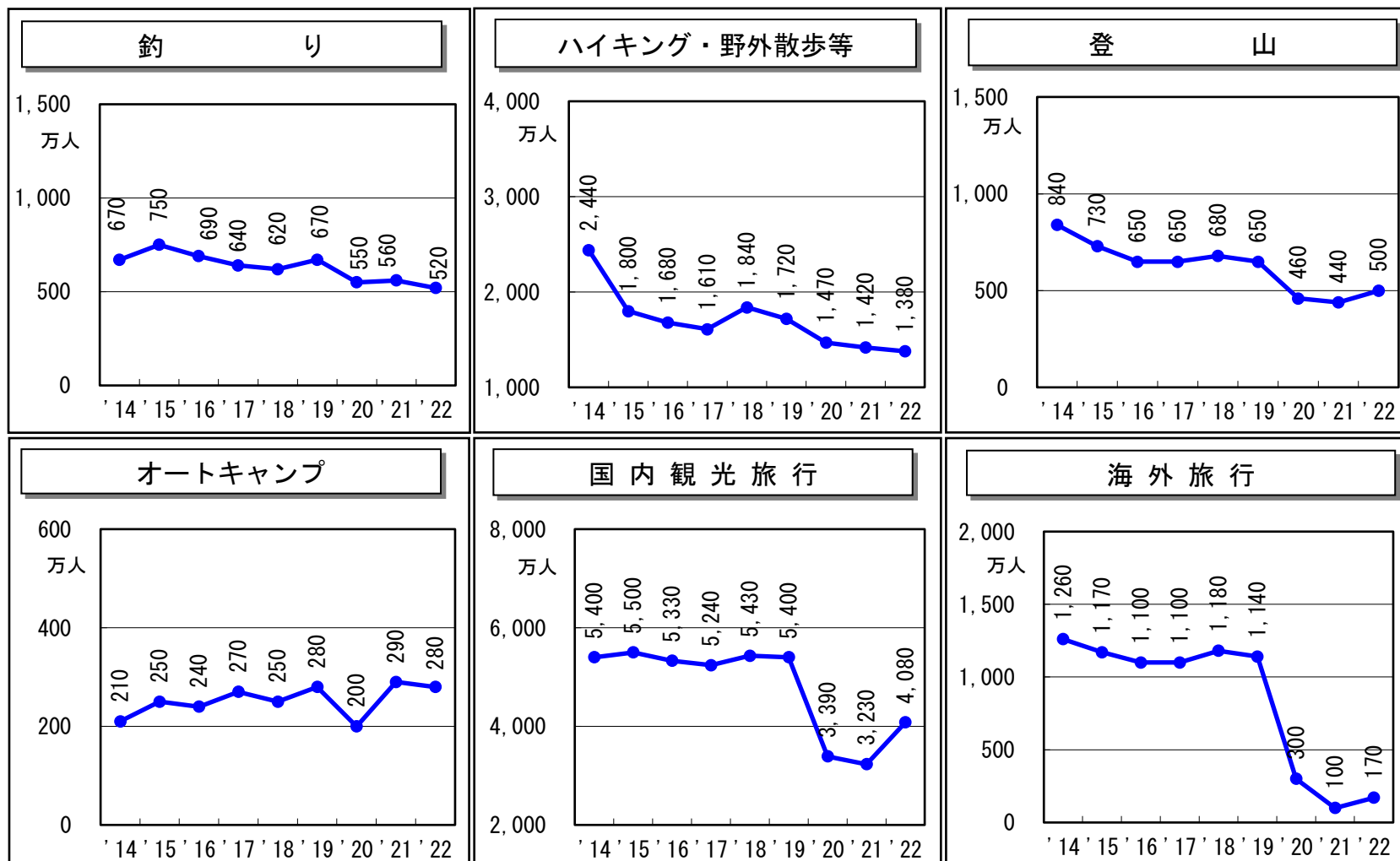


市場調査データ



参加人口の推移

当社の事業に関連するアクティビティの参加人口をピックアップしています。



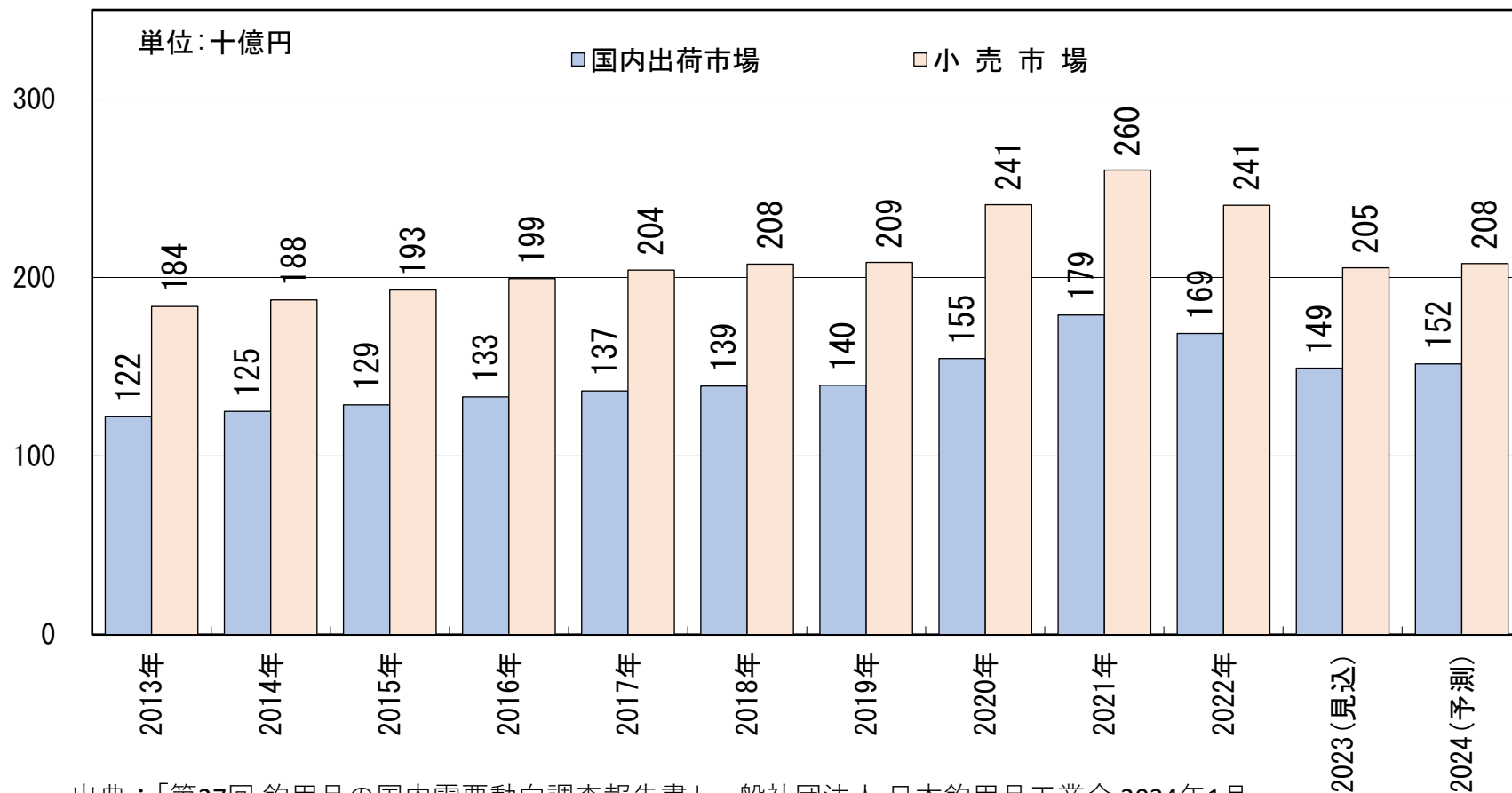
出典「レジャー白書2023」 公益財団法人 日本生産性本部 2023年10月

釣用品市場規模の推移

< 2つのグラフの意味 >

国内出荷市場：メーカーから小売店への出荷額の国内総計

小売市場：小売店より消費者等への販売額の国内総計



出典：「第27回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2024年1月

釣種別の国内出荷規模



国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）を釣種別に分類した表です。
色のついたセルは当社に関係する釣種になります。

釣 種	2021		2022			2023(見込)		
	金 額	構成比	金 額	構成比	前年比	金 額	構成比	前年比
ルアーフィッシング	121,393	67.8%	106,307	63.0%	-12.4%	93,184	62.4%	-12.3%
バ ス	37,944	21.2%	29,334	17.4%	-22.7%	28,432	19.0%	-3.1%
ソ ル ト	77,812	43.5%	70,846	42.0%	-9.0%	58,474	39.2%	-17.5%
ト ラ ウ ト 他	5,637	3.1%	6,127	3.6%	8.7%	6,278	4.2%	2.5%
フライフィッシング	2,487	1.4%	2,634	1.6%	5.9%	2,632	1.8%	-0.1%
ルアー・フライ小計	123,880	69.2%	108,941	64.6%	-12.1%	95,816	64.2%	-12.0%
投 げ 釣 り	4,311	2.4%	3,918	2.3%	-9.1%	3,902	2.6%	-0.4%
磯・波 止 め 釣 り	22,861	12.8%	22,157	13.1%	-3.1%	19,451	13.0%	-12.2%
船 釣 り	17,815	9.9%	20,592	12.2%	15.6%	17,633	11.8%	-14.4%
溪 流 釣 り	2,001	1.1%	1,617	1.0%	-19.2%	1,554	1.0%	-3.9%
ア ユ 釣 り	3,988	2.2%	5,093	3.0%	27.7%	4,927	3.3%	-3.3%
ヘ ラ ブ ナ 釣 り	3,932	2.2%	5,022	3.0%	27.7%	5,116	3.4%	1.9%
そ の 他	282	0.2%	1,280	0.8%	353.9%	861	0.6%	-32.7%
合 計	179,070	100.0%	168,620	100.0%	-5.8%	149,260	100.0%	-11.5%

出典：「第27回 釣用品の国内需要動向調査報告書」一般社団法人 日本釣用品工業会 2024年1月

アウトドア用品の国内出荷規模①



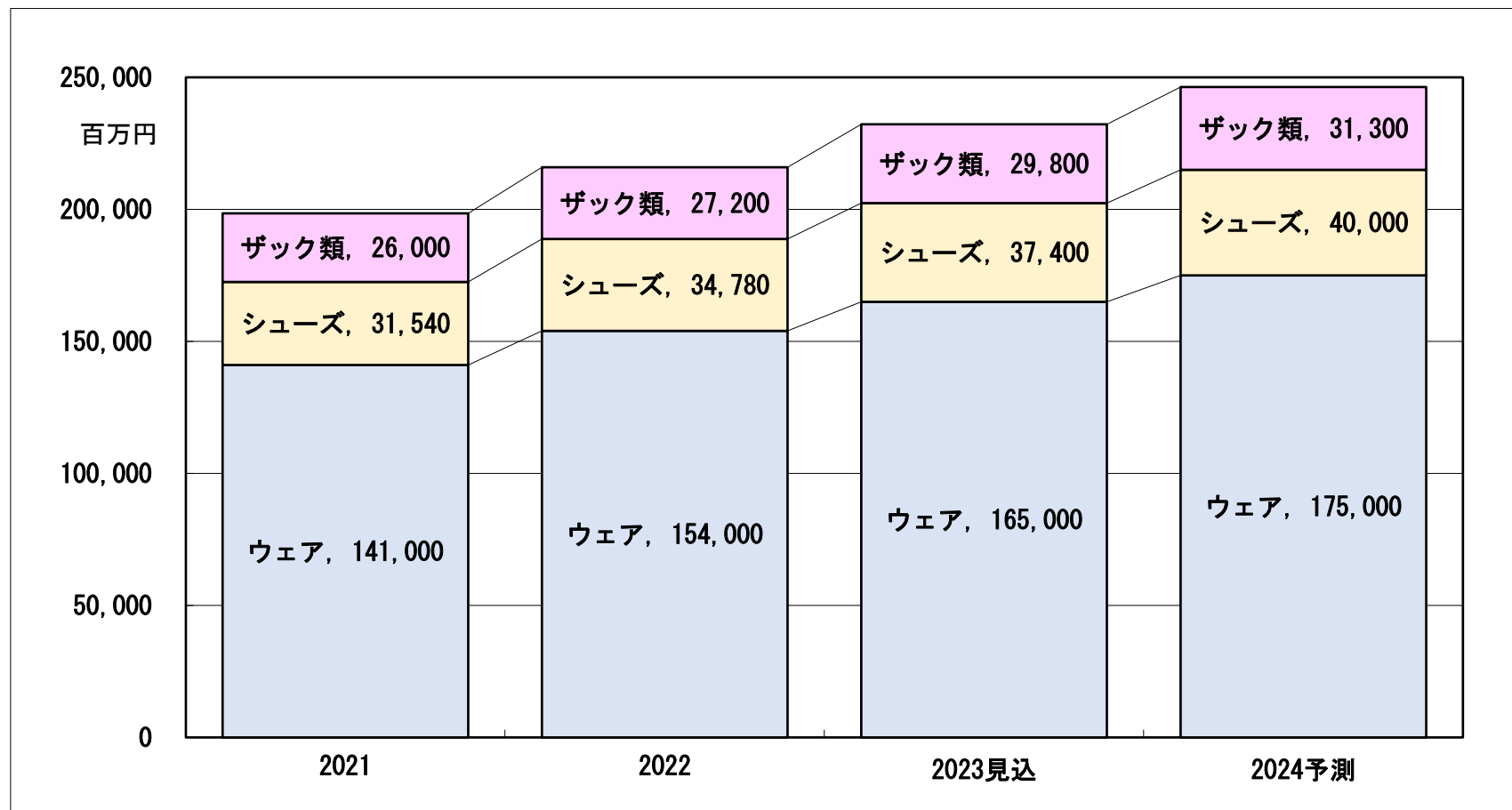
国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）を商品別に分類した表です。
色のついたセルは当社に関係するジャンルになります。

分 類	2021	2022		2023見込		2024予測	
	出荷額	出荷額	前年比	出荷額	前年比	出荷額	前年比
ア ウ ト ド ア ウ ェ ア	141,000	154,000	109.2%	165,000	107.1%	175,000	106.1%
ア ウ ト ド ア シ ュ ー ズ	31,540	34,780	110.3%	37,400	107.5%	40,000	107.0%
ザ ッ ク 類	26,000	27,200	104.6%	29,800	109.6%	31,300	105.0%
テ ン ト ・ タ ー プ 類	24,390	26,400	108.2%	19,200	72.7%	18,600	96.9%
シ ュ ラ フ	8,000	7,800	97.5%	6,000	76.9%	6,200	103.3%
照 明 器 具	5,400	4,800	88.9%	3,500	72.9%	3,200	91.4%
調 理 器 具 ・ 食 器 類	11,000	11,800	107.3%	11,800	100.0%	12,000	101.7%
テ ー ブ ル ・ チ ェ ア	14,550	14,100	96.9%	11,200	79.4%	11,600	103.6%
ク ー ラ ー ・ ジ ャ グ 類	6,770	7,100	104.9%	5,900	83.1%	6,150	104.2%
そ の 他	24,230	23,200	95.7%	16,300	70.3%	17,400	106.7%
合 計	292,880	311,180	106.2%	306,100	98.4%	321,450	105.0%

アウトドア用品の国内出荷規模②



当社に関連する商品ジャンルのみをピックアップした国内出荷規模（メーカーから小売店への出荷額）のグラフになります。





Think in the field.
TIEMCO

< 当資料に関するお問い合わせ >

株式会社ティムコ 社長室

TEL 03-5600-0122 FAX 03-5600-0302

メールでのお問い合わせは下記のアドレスまたは右のQRコード
より I R お問い合わせ画面にアクセスいただけます。

<https://tiemco.tayori.com/f/inquiry-form-ir/>

IRお問い合わせ専用



注) 本資料は、当社の業績概要の提供を目的とするものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は注記のない限り開示時点の決算データ及び直近の事業データに基づいて作成されております。
本資料に記載された意見や予測などは、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。